

塗る亜鉛が建築を変える



SHIROIYA
HOTEL

時を経て、その表情を変えていく



四季の移ろいと 共に変化する素材

整えられた植栽も四季折々の表情をあらわします。秋から冬にかけて蓄えた英気を春に『めぶく。』ことで青々とした木々や草花に包まれ、垣間見る表情もその一つです。構成材である手すりも本来であれば建築物と共に時を重ねていきますが、一般的な塗装を施すと美観維持のため見た目があまり変わりません。しかし天然由来の亜鉛素材ローバルであれば、さび止め効果を発揮すると共に経年で色が変化していき、建物に味わいや風合いを刻々と映し出すことができます。経年の色変化が醸し出す独特の色彩調和をぜひ一度ご体感ください。



撮影：新建築社写真部



鋼材に意匠性と防食性をもたらす
安心して住環境で使える亜鉛コーティング

水性ローバル

特許取得 0.9kgセット／4.5kgセット／18kgセット

亜鉛末を配合し、深み、奥行きを感じさせ、
立体的な黒色仕上げを可能にした

マットカバー

420mlスプレー／18kg 一斗缶

ローバル公式note
白井屋ホテル記事

